

平成 26 年度 温熱生理研究会 プログラム・要旨

開催日程：平成 26 年 8 月 28 日（木）～29 日（金）

場所：岡崎コンファレンスセンター2階 小会議室

平成 26 年 8 月 28 日 (木) 13 : 00-18 : 05

13 : 00-13 : 05 世話人挨拶

演題 1-1 13 : 05-13 : 35

熱中症とヒトの末梢性体温調節機構

奈良女子大学大学院 生活環境科学系 応用生理学研究室 芝崎 学

演題 1-2 13 : 35-14 : 05

温度感受性 TRPV4 イオンチャネルの皮膚バリア機能における役割とその応用

ポーラ化成工業株式会社 開発研究部スキンケア開発室 大場愛

演題 1-3 14 : 05-14 : 35

分子を手掛かりに発熱・体温調節機構にせまる

大阪工業大学 工学部生命工学科 生体情報研究室 松村潔

14 : 35-14 : 50 (休憩)

演題 1-4 14 : 50-15 : 20

温度感受性TRPチャネルの化粧品開発への応用

株式会社マンダム 技術開発センター 藤田郁尚

演題 1-5 15 : 20-15 : 50

環境ストレスから生命を守る体温調節システム

京都大学 生命科学系キャリアパス形成ユニット 中村和弘

演題 1-6 15 : 50-16 : 20

スポーツ用クーリング素材・保温素材の開発

帝人フロンティア株式会社 技術開発部 堀川直幹

16 : 20-16 : 35 (休憩)

演題 1-7 16 : 35-17 : 05

褐色脂肪組織：マウスからヒトへ

北海道大学名誉教授 齊藤昌之

演題 1-8 17 : 05-17 : 35

高体温による運動能力の低下と暑さ対策戦略

広島大学総合科学研究科 環境運動生理学研究室 長谷川 博・鄭 シンエン・鬼塚純玲

演題 1-9 17 : 35-18 : 05

スポーツ医科学講座の温熱生理学研究の10年

信州大学大学院医学系研究科 疾患予防医科学系専攻 スポーツ医科学講座

上條義一郎

終了後懇親会

平成 26 年 8 月 29 日（金） 8 : 45- 12 : 40

演題 2-1 8 : 45- 9 : 15

皮膚末梢神経の種類と脳応答

生理学研究所 統合生理研究系 感覚運動調節研究部門 乾 幸二

演題 2-2 9 : 15- 9 : 45

発汗活動の中枢性および末梢性機序と皮膚交感神経活動

愛知医科大学 医学部生理学講座 西村直記

演題 2-3 9 : 45- 10 : 15

応用科学としての温熱生理学

過去の研究をもとに、あと 10 年何を目指していくか？

早稲田大学人間科学学術院 体温・体液研究室 永島計

10 : 15- 10 : 30（休憩）

演題 2-4 10 : 30- 11 : 00

温熱科学的ものづくり

（株）ワコール 人間科学研究所 開発二課 岡本智子

演題 2-5 11 : 00- 11 : 30

商品開発に求められる生理反応情報について

東洋紡（株） 総合研究所コーポレート研究所 快適性工学センター 石丸園子

演題 2-6 11 : 30- 12 : 00

ゴールデンハムスターにおける冬眠制御機構の解明

—これまでの中枢体温調節機構に関する基礎研究と今後のモデル動物としての

応用を目指して—

福山大学 薬学部 薬理学研究室 渡邊正知・門田麻由子・田村豊

演題 2-7 12 : 00- 12 : 30

温度感受性TRPチャネル研究の進展

生理学研究所 細胞器官研究系 細胞生理部門 富永真琴

12 : 30- 12 : 40

閉会の辞